

「AはAppleのA」

子どもが飽きずに練習できるように、工夫しました。

①書き順・・・みんなで確認

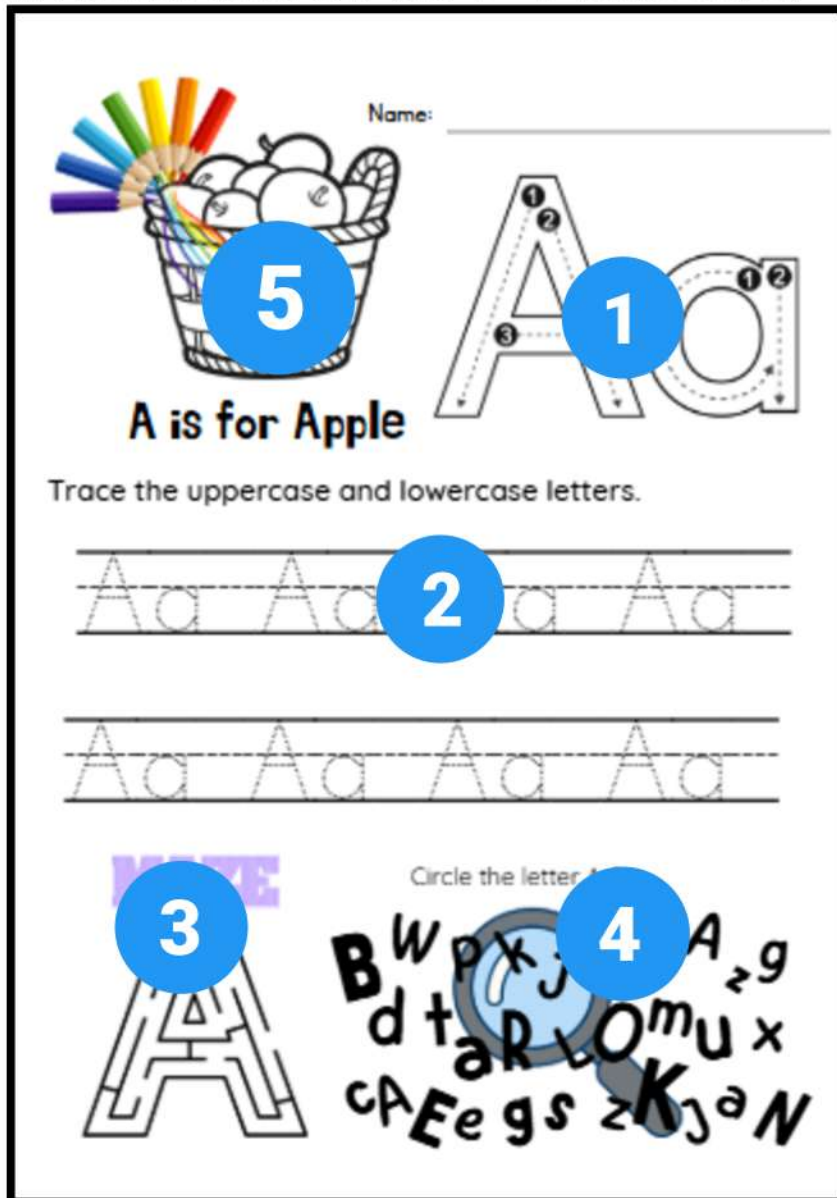
②練習、③迷路。④文字の認識・・・個人

＊教師は机間巡視。早くできた人は、ぬりえをするように言う

⑤のぬりえは、早く終わった人との時間調整用

全員が④に取りかかっているようなら、答え合わせ。

答え合わせは、隣の人と、スクリーンに映してなど。



ワークシートを行うときは、作業がゆっくりな生徒だけでなく、早く終わった生徒へのフォローも大切にしています。

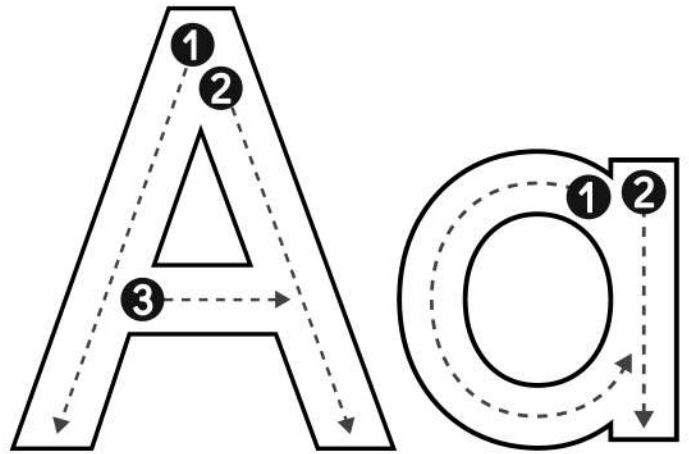
⑤のぬり絵は、早く終わった子が手持ちぶさたにならないように用意しています。

④の「文字の認識」は、全員が終わるまで待たず、みんなが④に取りかかった頃を見計らって「そろそろ答え合わせをしましょう」と声をかけます。すると、たいていの子どもは自然に作業スピードを上げ、答え合わせの時にはほとんど全員がワークシートを終えていることが多いです。

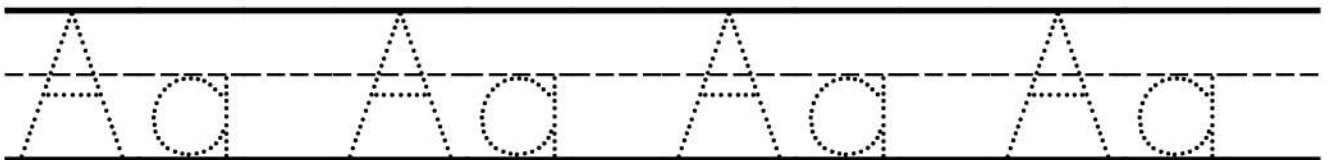
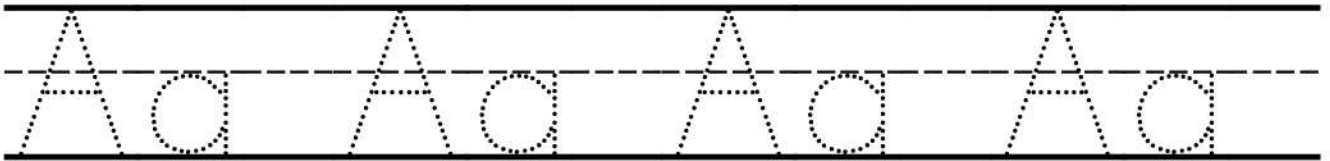
Name: _____



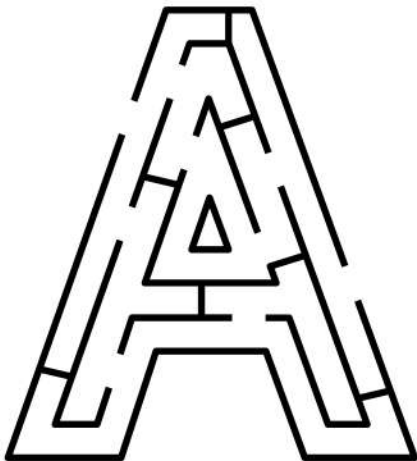
A is for Apple



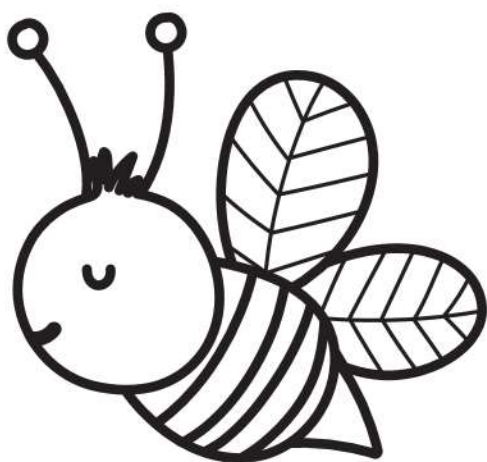
大文字と小文字をていねいになぞろう



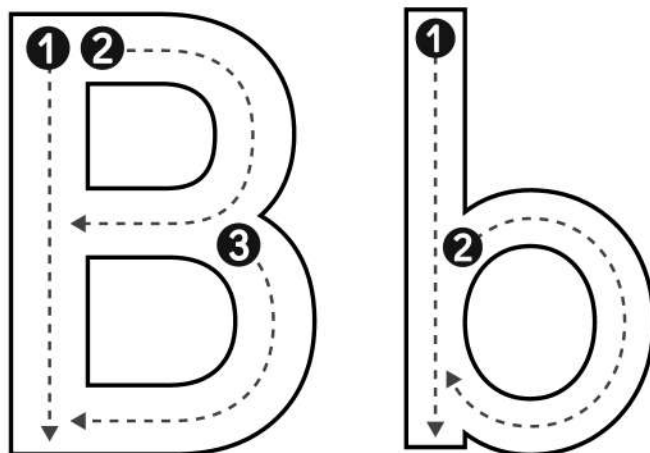
A と a を見つけて、○をつけよう



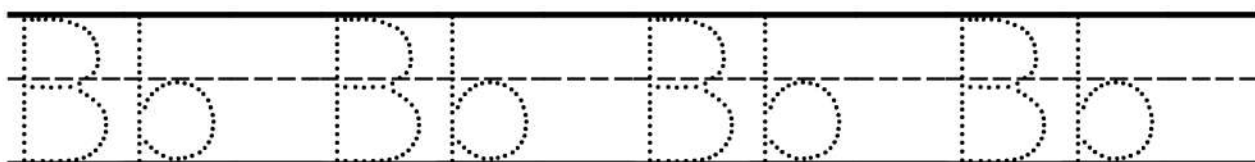
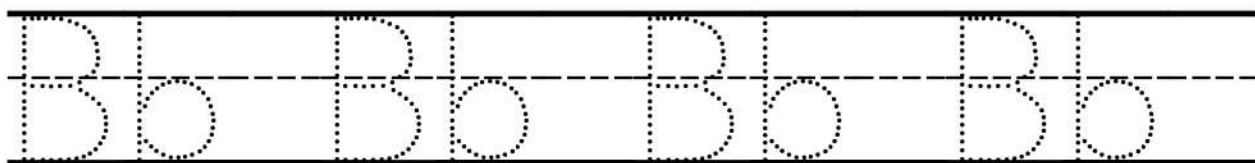
Name: _____



B is for Bee



大文字と小文字をていねいになぞろう



B と b を見つけて、○をつけよう

